

水の流れを学ぶ 町内小学校「上下水道施設見学」

町内3小学校4年生の社会科授業で、各地区の浄水場や浄化センターの見学学習が行われました。見学学習では、株式会社トーカンの皆さんや町の職員の解説で生活の中で使用されている水が「どこから、どのように来ているのか」や「使用した水がどのように処理されているのか」などを学びました。児童は、普段見ることができない施設の内部構造や設備に興味深々で見学して回りました。



▲浄水施設の見学をした只見小児童
(6月24日)



▲施設設備の説明を聞く朝日小児童
(6月26日)



▲町職員から説明を受ける明和小児童
(6月25日)

合唱で交流を深める 「南会津合唱交流会」開催

南会津郡内の合唱・コーラス団体が集まり合唱を通して交流を深める「南会津合唱交流会」が、6月23日に只見公民館で開かれました。

交流会は5年ぶり23回目の開催で、町からは、コーラスはなみずき、コーラスフルールの2団体が参加し、計6団体が参加しました。

五十嵐聰江さん(只見)が「5年ぶりに開催できたことを嬉しく思います。今日一日楽しい交流会にしてほしいです」と主催者代表のあいさつをしました。



▲町内から参加したコーラスはなみずき(左)、コーラスフルール(右)



▲おめでとうございます。

祝百歳賀寿

知事賀寿状伝達式が行われました

菅家アサエさん(布沢)の知事賀賀寿贈呈式が7月19日に行われ、賀寿状の伝達や、記念品の贈呈が行われました。菅家さんの長寿の秘訣は「お米を三度三度欠かさず、しっかり食べること」とのことです。

これからも元気に長生きしてください。

只見線子ども会議メンバー発案

「七夕列車 只見線ツアー」実施

JR只見線の「びゅうコースター風っこ号」を使用した「七夕列車 只見線ツアー」が、7月6日、7日に只見駅に入線しました。

このツアーは、昨年度の「只見線子ども会議」において提案されたアイデアで、車内には只見線子ども会議のメンバーが描いた絵を展示したり、只見駅構内の待合所には七夕飾りを設置し、只見駅で降車した方が楽しめるような工夫を凝らしました。



▲駅の飾り付けを行ったメンバーたち

映画「青春18×2」応援プロジェクト

只見高校「18年後に開封するタイムカプセル」企画 実施



▲専用の原稿用紙に手紙を書く生徒

只見町がロケ地となっている日台合作映画「青春18×2 君へと続く道」の応援事業として、町と県立只見高等学校が協力し、「18年後に開封するタイムカプセル」企画を実施し、只見高校生が18年後の自分に向けた手紙を書きました。

映画では、主人公の18歳頃の青春像と、その18年後の時間の流れを描いており、生徒たちに18年後の自分を考えてもらうきっかけとして、町が企画しました。

生徒は、未来の自分への質問などを書いた手紙を封筒に入れ保管用の箱に収めました。

手紙は町が保管し、18年後に同校で開封する予定です。

只見町で頑張る海外研修生らと交流

明和自治振興会「第6回国際文化交流会」開催

明和自治振興会の主催で「第6回国際文化交流会 ミニ運動会」が7月6日に明和小学校体育館で開催され、ヒロタテクノ、会津工場、グループホーム和の里、桜の丘みらいなどに勤める海外研修生や地元企業の社員、地元住民ら約100人が参加し、スポーツを通して交流を深めました。

運動会は、じゃんけんで負けた人が勝った人の後ろに繋がって列を作る「じゃんけんリレー」や綱引きの他、会津磐梯山踊りを含む8競技が実施され、地元住民と海外研修生の笑顔溢れる交流会となりました。



▲「じゃんけんリレー」を楽しむ参加者

古着をリメイク して再活用

「めいわぬいっ子さん」オープン

使われていない着物などを無償で譲り受けて、様々な作品を製作している「めいわ縫子さん(以下、同会)」が小林地内モンマート舟木向いに、作品の展示、販売を行うリメイクショップ『めいわぬいっ子さん(以下、同店)』を開きました。

同店は、不要となった着物や帯などをワンピースやバッグ、ユッコギなどにリメイクしたものを展示、販売しており、売上の一部は町内小学校のSDGs活動やただみ・モノとくらしのミュージアムに寄附されるとのことです。

同会員は「昔の人が生地を余すことなく無駄にしないようユッコギを作っていたSDGsの精神を受け継ぎ、使われなくなった古着の形を変えて、また活用できるものに変えています。皆さんのお役にたてればと考えていますので、ぜひお越しください」と話しました。

○めいわぬいっ子さん 営業日：月火土日曜日午後1時～3時(夏期) ※営業中は「営業中」ののぼり旗がでています。
お問合せ：事務局 星 (TEL 080-1808-4768)



▲伝承製品の認証を受けたミニユッコギの販売もしており、「ユッコギの良さも広めて行きたいです」とも話してくれました

長年の推進委員活動が評価

佐藤隆一さん

「東北地区スポーツ推進委員功労者表彰」受賞



▲町教育委員会に受賞報告をした佐藤氏

令和6年度東北地区スポーツ推進委員功労者の表彰式が7月12日に宮城県石巻市で行われ、只見町から、佐藤隆一さん(福井)が表彰を受けました。

佐藤さんは、平成19年から、町体育推進委員として活躍されており、長年スポーツ少年団のコーチを務めた他、現在も野球の審判として、南会津及び会津管内で活動されています。

佐藤さんは「これを機に更に地域スポーツの推進に寄与していきたいです」と話しました。

2期6年を務める

鈴木美穂さんに感謝状が贈られました

令和6年6月30日の任期満了で人権擁護委員を退任された鈴木美穂さん(只見)に法務大臣から感謝状が贈られ、その伝達式が7月22日に役場町下庁舎で行われました。

鈴木美穂さんは、平成30年から2期6年の任期を務め、任期中は町内小学校で人権教室の講師を務めた他、雪まつりを始めとしたイベント会場でパンフレット配布を行うなど、町内の人権啓発活動に尽力されました。



▲感謝状の伝達を受ける鈴木さん

新潟・福島豪雨災害から13年 命を守ることを伝える 朝日小「防災教室」実施

朝日小学校は、13年前に起きた「平成23年7月新潟・福島豪雨災害」について知ることで、児童の防災意識を高めることを目的として、7月18日に防災教室を実施しました。講師は、災害を体験した菅家達朗さん（黒谷）、吉津謙三さん（長浜）、南会津教育事務所の飯塚敏明さんが務めました。

講師の3人は、それぞれが実際に五感で感じた災害の怖さと併せて、「災害時には命を守ることを最優先で行動してください」と話しました。



▲水害当時の写真をみて、驚きの声を上げる児童もいました

夏休み企画 「布沢で川あそび体験」実施



▲川の水をかけあうなどして、楽しみました

明和自治振興会の主催で「布沢で川あそび体験」が縁樹の家（布沢）で実施され、明和地区内の小学生9人と中学生ボランティア3人が参加しました。

活動では、薪割り体験や布沢川で川遊び、バーベキューなどを行い、自然の中での生活を学びながら、活動を楽しみました。

川遊びでは、子どもたちが「プールよりも全然冷たいけど、慣れると楽しいです」と笑顔で話しました。

また、午後は縁樹の家で、木地師の生活を記録したDVDを見たり、パラコードブレスレット作りの他、ボードゲームなども行い、子どもたちは、学びも遊びも充実した1日を過ごしました。

TWSC「奥会津ねっか」最高金賞「ばがねっか」金賞 ベストカテゴリー賞 受賞を報告 「ねっか祭り2024」開催

合同会社ねっか主催の「ねっか祭り2024」が7月20日に季の郷湯ら里で開催され、海外からの参加者も含め、約140人が参加しました。

合同会社ねっかの協坂斉弘代表はあいさつの中で、東京ウイスキー&スピリッツコンペティション(TWSC)2024焼酎部門において、「奥会津ねっか」が最高金賞、「ばがねっか」が金賞とベストカテゴリー賞を受賞したことを報告しました。



▲開催と受賞をお祝いし、乾杯する参加者

○TWSC…アジア最大級の蒸留酒の品評会。審査は、大きく洋酒、焼酎で分けられ、それぞれ、1次審査（銅賞、銀賞はこの段階で決定）、2次審査（金賞、最高金賞を決定する）が行われる。焼酎部門は、国内外問わず市場に販売している焼酎を評価する。審査員はバーテンダーや酒類製造業、酒類販売業など酒類の製造・流通・販売に関わる方が務める。「ばがねっか」が受賞したベストカテゴリー賞は、一次審査結果で最高得点だったアイテムに贈られる賞。